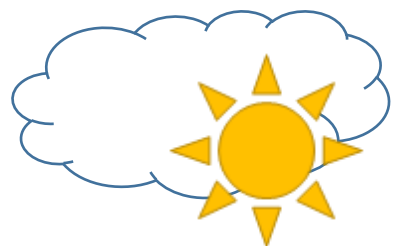


3学年 学年通信 NO.15



青空



★ 修学旅行で得たものは？ ★

8月28日(金)に修学旅行前の最終チェックと荷物確認等を行い、万全の体制で30日(日)に東京から(奈良・京都)に向けて出発しました。通常新幹線は、修学旅行団体列車を使うのですが、四中は一般列車で行きました。一般列車を使用するとは、どういうことか事前にみんなでしっかりと考え、考えたことを約3時間座席で友人と過ごすのも、貴重な体験学習となりました。

1 日目は、新大阪から『法隆寺』へバスで向かい、ガイドさんからは、今回の修学旅行の目的の1つ目にある【京都・奈良における歴史的遺産の見学や体験を通じて、日本の伝統文化へ理解を深める】実地研修ができたのではないのでしょうか。私が乗車したバスでみんなと学んだことを少し紹介します

【法隆寺・金堂】

下記の写真の金堂の二重部分『**卍崩(まんじくず)しの高欄(こうらん)**』を『**人字形割束(にんじけいわりづか)**』が支えるという、飛鳥時代らしい非常に特徴的な意匠(いしょう：形・模様・デザインに込められた工夫や意味)があります。



★**卍崩し**…卍を見合わせた幾何学的な模様。仏教的な吉祥性や装飾性をもつ。

★**人字形割束**…「人」の字のような形で高欄を支える、構造と装飾を兼ねたもの。

★**雲肘木(くもひじき)**…柱の上で、屋根(軒)を支えるための組物。水平(横)方向に伸び、雲のような渦巻き模様や曲線の装飾が彫り込まれている。

★ 「なりたい自分」を真ん中に置いて

～マンドラ・チャート～ ★

先日、キャリア教育の時間に「マンドラチャート」って自分のこれからについて考えました。「マンドラチャート」と聞くと、大谷翔平センスを思い浮かべる人も多いでしょう。大谷選手が高校時代に、将来の目標を真ん中に置き、その実現のために必要なことを周囲に書き出したことが知られています。



今回、みなさんにも取り組んでもらったのは、大谷翔平と同じような大きな夢をもってほしかったからではありません。【自分は、これからどうなりたいのだろう】少し立ち止まって、自分自身について考えてほしかったからです。「どこの高校にするか」「どのくらいの学力が必要か」「どんな学校生活が送れるか」…、考えることはたくさんあります。けれども、学校を選ぶことだけが線路を考えることではありません。

1 その高校で何をしたいのか。 2 どんな経験をしたいのか。

3 どんな自分のなりたいのか。

そこまで考えてみると、学校の見え方も少し変わってくるのではないのでしょうか。

今回の「マンドラ・チャート」では、思ったように書けなかった人もいるかもしれません。中心に置く「夢」がまだみつからない人もいるでしょう。それでいいです。中学3年生の今、将来の答えを1つに決める必要はありません。大切なのは、「まだ分からない」と思ったところから、自分について考え始めることです。そして、考えたことを「今の自分にできること」につなげていくことです。例えば、「高校で〇〇を頑張りたい」と思ったなら、そのために今できることは何でしょう。勉強かもしれません。生活習慣を整えることかもしれません。人との関わり方を考えることかもしれません。

進路は、ある日突然決まるものではありません。日々の小さな選択の積み重ねが、自分の進む道につながっていきます。9月。いよいよ進路について、具体的に考える季節になりました。「どこに行くか」だけではなく、「そこで、どんな自分になりたいか」。今回書いた「マンドラ・チャート」を、ときどき見返してみてください今の自分と、少し先の自分。その間をつなぐ一歩を、今日から探していきましょう。

★ 第2回 到達度テスト 9月14日(月) ★

来週の月曜日には、【第2回到達度テスト】が実施されます。テスト範囲は、8月24日発行の学年便り第14号に掲載されています。

※【定規・コンパス】が必要になります。忘れないように。